

スマート継続OSSシステム

一般財団法人自動車検査登録情報協会（自検協、加藤和夫理事長）は国土交通省（国交省）が推進する「自動車保有関係手続のワンストップサービス」（OSS）の利用促進を目指して「スマート継続OSSシステム」を開発した。初期費用0円で導入できる手軽さと、簡単操作の「指定整備記録簿」や手入力なしで「電子保安基準適合証」を作成できることから、現在はディーラー・専業の指定工場約5千事業場が利用している。業務効率化や検査員の作業負担軽減などにもつながるメリットを訴求し、システム利用率の拡大と継続OSS申請の普及を目指す。

一般財団法人 自動車検査登録情報協会

スマート継続OSSシステムの内容はシステムが合否の判定や入力漏れのチェックを行う。また、システムと連携可能な検査機器から合格結果を取り込んで入力作業自体を削減することもできるため、不正車検を未然に防ぐ等、指定整備業務の適正化に有効利用することができ。また、記録簿の情報はシステムが保存しており、必要なときに呼び出せるなど、利便性も高い。出力と編集制御機能があるのでコンプライアンス強化にも一役買う。

記録簿作成機能はQRコードから情報を読み取り、正確な国交省車検証データの取得や記録簿の様式が自動選択される。主に画面タッチやパターン選択で作業を進行。入力

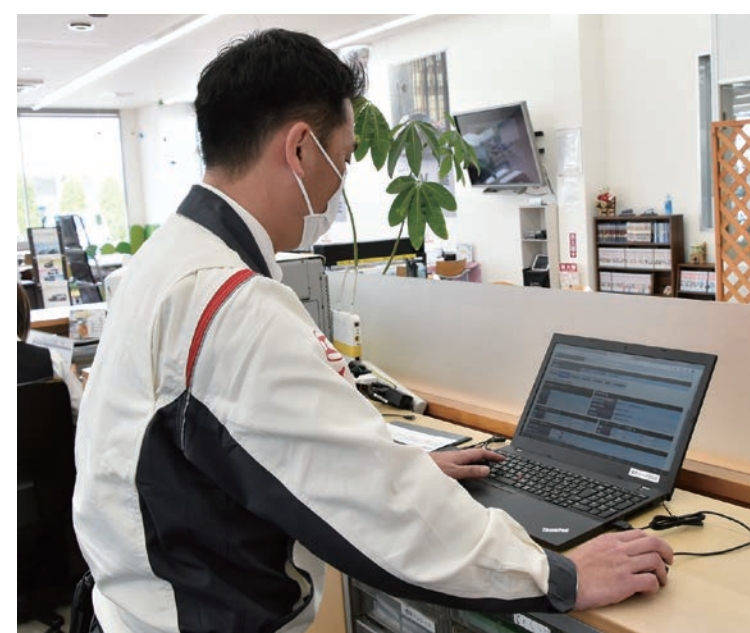
新旧自賠責データが自動で取り込まれる

記録簿の情報は電子保適証と連携。国交省の車検証データと自検協の新旧の自動車損害賠償責任保険（自賠責保

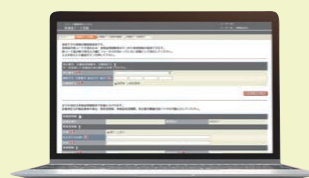
険）データを取り込むので、短時間かつ手入力なしで正確な電子保適証を作成することができる。記録簿と電子保適証の完成後は、システムが自動でOSS申請情報を作成して申請代理人に送信する機能もある。（※継続OSS申請サービス利用時は電子保適証サービスとOSS申請共同利用システムへの申し込みが必要）

作業負担軽減、ミス防止で働き方改革にも
慢性的に人材が不足している自動車整備業界では、業務の効率化と作業負担軽減が必

要不可欠だ。システムを導入することで検査員が手書きで記録簿や電子保適証を作成する手間を省くことができる。また、国交省の車検証データや新旧自賠責保険データを取り込むため正確性もアップ。



スマート継続OSSシステムなら 電子保適証の作成もミスなくカンタン



Point

1 国交省の車検証データから自動入力

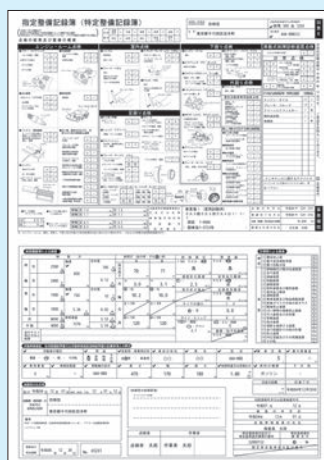
2 新旧自賠責データを自動反映

電子保安基準適合証	
検査番号 20800001	令和02年02月14日交付
指定自動車検査所 事業者の氏名 又は名称 事業主の名称 及び所在地	株式会社〇〇自動車 若本市車検センター 東京都千代田区若本市3丁目11-6
検査の年月日	令和02年02月14日
自動車検査員の氏名	検査 太郎
自動車登録番号 又は車台番号	東京 300 き 1234
車台番号	VIN-1234567
検査所 氏名又は名称 所在地	自検協 太郎 東京都千代田区
検査項目	5人 最大積載量
重量	1495 kg
使用期間	平成31年02月14日から令和04年03月14日まで

注1. 保安基準適合証の有効期間は、検査の日から15日間とする。

ディーラー・整備工場向け！ 継続OSSを簡単・正確に作成

スマート継続OSSシステムなら 記録簿の記入もスムーズ



画面タッチ&パターン選択で
簡単入力

国交省の車検証データから
自動入力 ※様式は自動判定

基準値を合否判定して
ミス防止

入力漏れ防止機能等で
コンプライアンス強化



デジタル化への対応は必要不可欠！ 今のうちから準備を

2023年1月から電子車検証の交付がスタートしたほか、24年にはOBD検査も開始されるスマート継続OSSシステムを導入することで、効率的に正確性の高い記録簿と電子保適証を作成できる環境を整えてデジタル化が推進されていることもあり、働き方改革を推進させることも可能だ。

お問い合わせ先
自動車検査登録情報協会
電話＝03-6566-2150
e-mail＝smart@aria.or.jp
HP＝https://www.aria.or.jp/